

# ボランティアセンターだより

編集・発行：社会福祉法人 越生町社会福祉協議会

令和6年4月1日発行

越生町ボランティアセンター

電話番号：049-292-2977 住所：越生町越生908-12

HP <http://www.ogose-shakyo.or.jp> E-mail [info@ogose-shakyo.or.jp](mailto:info@ogose-shakyo.or.jp)

令和  
5年度

## 越生地域支え合いサービス事業交流会を行いました



令和6年2月21日(水)に、これからボランティアを始めたい方や、既にボランティアとして活動されている方を対象とした交流会を実施し、10名の方にご参加いただきました。

“ボランティア活動を始めたきっかけは？”“家庭との両立の秘けつは？”など、思い思いにお話しただく中で、「本事業は、介護保険制度上対応できない部分に手が届くところが良いと思う」「家族がそれぞれ自分の好きなことのできる環境だから、活動出来ているのだと改めて感じた」「可能な限り続けていけたら」など、前向きなご意見・ご感想をいただくことが出来ました。

今年度の越生地域支え合いサービス事業では、買い物代行やお掃除など、コロナ禍の中でもボランティア会員の皆様に可能な範囲での支援を行っていただいております。令和6年度も、今年度に引き続き利用者の皆様の様々なニーズにお応えできるよう、ボランティアと職員が協力し合い、一丸となって取り組んでまいります！



令和  
6年度

## 第1回男子ごはん事業参加者を募集します



今年度も、おおむね60歳以上の男性を対象とした料理教室“男子ごはん”を実施します。

食事は、生きていくための大切な要素です。自分で料理を作ることができると、楽しく体づくりができるだけでなく、家族や大切な人の健康を守ることにもつながります。初心者の方も大歓迎です。みんなで楽しくお料理を覚えましょう！

**日時**：令和6年5月21日(火) 10:00～正午

**場所**：中央公民館 2階調理室

**持ち物**：100円(参加費)、エプロン、三角巾、米一合

※5月14日(火)受付締切



# ボランティア入門講座受講生大募集！

ボランティアの基礎を学ぶことが出来る講座を開催いたします！座学だけではなく、体験学習も盛り込んだ内容となっております。ご興味がある方は、ぜひお気軽にお申込みください。

講座内容	日時	概要
開講式 講座Ⅰ「ボランティアって？」	6/19(水) 13:30~15:30	『ボランティア』ってどういう活動？町内のボランティア活動もご紹介します♪
体験Ⅰ 「高齢者疑似体験」	7/17(水) 13:30~15:30	高齢になると身体にどんな変化が起こるの…？疑似体験セットを装着して日常生活を体験しましょう！
講座Ⅱ「認知症について」	8/21(水) 13:30~15:30	高齢による物忘れと認知症ってどう違うの？対応の仕方等を一緒に学びましょう！
体験Ⅱ 「アイマスク・車いす体験」	9/18(水) 13:30~15:30	基本介助方法を学び、アイマスク・車いすで町内を散策し、実際に『バリア』を体験します。
講座Ⅲ 「あなたの地域を知ろう」	10/16(水) 13:30~15:30	ご近所で困っている方がいたらどうしますか？地域の支える力について一緒に考えます。
ボランティア体験活動 (最低3種以上の体験)	10月~2月中	福祉施設やボランティア団体、社協事業関連ボランティア等、興味のある活動体験をします！
体験活動報告会	11/20(水) 13:30~15:30	10月から行っているボランティア体験の途中情報交換をします。
交流会・閉講式	令和7年 2/19(水)	町内・町外のボランティアさんとの交流会・修了証授与を兼ねた閉講式

**参加費**：無料

**定員**：10名

**会場**：ゆうがく館そぶらの（体験講座は別会場となる場合があります。）

**申込期限**：5月21日(火)まで

**その他**：①年齢・性別・ボランティア経験の有無など一切問いません。

②本事業は、越生町からの「生活支援体制整備事業」の委託を受け実施されます。

ボランティア  
募集

## 子どもの安全を守る!登下校時見守りボランティア

小中学生の登下校時の見守り活動を行うボランティアさんを募集します。現在の登録数は22名です。県外で子どもの関わる事件が発生し、それを受けた住民の方々が「越生町で同じ事件が起きてほしくない。自分たちに出来ることをやりたい」と自発的に考え、始まった活動です。指定の帽子やジャンパー、腕章を着用し、地域の子どもたちを見守っています。

活動してみたい方、詳しくお知りになりたい方は、ぜひ本会までお問い合わせください！



### 活躍中の登下校時見守りボランティアさんに突撃インタビュー！

#### Q1. 活動のやりがいを感じることは？

子どもたちの顔を見ると、元気をもらえます。段々と子どもたちとも顔なじみになるので、当時見守りをしていた子たちが卒業して大きくなった姿を見ると、感慨深いですね。

#### Q2. 継続の秘けつは？

私の場合は10年以上続けているのでもう日課になっています。朝起きて、子どもたちの見守りをしてからグラウンドゴルフに向かうというルーティンが出来上がっています。

#### Q3. ボランティアを始めてみたい方に一言！

元気なうちから身体を動かすのが健康の秘けつです。一緒に頑張りましょう！



登下校時見守りボランティア  
鈴木 敏さん